

障害者就業・生活支援センター エブリィ

就職や就労継続支援施設の利用、就職活動継続と対象利用者によって地域で希望する生活は様々である。障害者就業・生活支援センター エブリィに登録を行い、利用者支援を実施してきた3事例を紹介する。

【会社に就職した事例】

当センター利用中から、家族や連携しているハローワーク職員と調整して頂き、支援について相談の場を設けて頂いた。就職後は会社への定期訪問をして頂き、単身生活の不安には、障害者就業・生活支援センターエブリィが中心となり地域の障害者サポートセンターとの相談も行い、就職先や生活両面のサポート体制を構築していくことで、本人・家族の不安の軽減に繋がった。

【就労継続支援施設B型事業所を利用した事例】

就労継続支援施設B型事業所を利用しながら、就職活動も継続したいとの意向があったため、障害者就業・生活支援センターエブリィを中心に、本人・家族、相談支援事業所、就労継続支援施設B型事業所職員と相談の場を調整して頂き、支援方法を明確にすることができた。利用者が必要とする機関にそれぞれ出向くのではなく、一箇所に集まり相談できたことは、本人・家族にとっては効率よく、また安心の材料となり得た。

【就労移行支援事業所を利用した事例】

就労移行支援事業所の利用にあたり利用者の当センター終了後の相談を、障害者就業・生活支援センターエブリィが受けることとなった。

この事例は1例に過ぎないが、就職することになった方には会社への訪問、生活面に不安がある方には地域の相談支援事業所を紹介して頂き、必要に応じて関係機関が集まり会議を実施するなど連携して支援していくことができた。

各機関が一同に集まり今後の支援について相談をしていくことは、本人・家族の不安軽減に繋がる事となった。



障害者就業・生活支援センターエブリィが入る高崎市総合福祉センター